



森 PEACE OF FOREST

著者名	小林 廉宜	発行年	2016年
出版社名	世界文化社	ページ数	240ページ
値段	2,484円	ISBN	978-4418162123
コメント	ちょっとひといき森林浴。ちいさな写真集なのに、心ゆくまで森に浸れます。バオバブの木に白い鳥が止まっているショットに思わず頬がゆるみます。本文（？）中に文字が1コもないのも潔い。気に入ったところで立ち止まって、気になるなら巻末インデックスをどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム		コメント	
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント
			投稿時間

新世界の神 ☆☆☆	同じ森の風景でも季節の違いだけではなく、アングルを変えてみるだけでも木々の表情が変わるのが奥深いと思った。			
	1-240	240P (30分)	特になし	2019/12/02 01:39:51

mt8 ☆☆☆☆	楽しみ方が大人すぎて自分にはまだ早いと感じた。 流し読みしてしまったがもっと細部まで着目してみる価値がありそう。 森林浴はリアルのほうがいいでしょ。			
	すべて	240P (30分)	全部	2019/12/01 20:24:44

onakasuita ☆☆☆☆☆	森の写真しかないののでペラペラ読みやすく、言葉による先入観無しに、純粋な自分の感性で写真を見ることができる。 様々な季節の（、冬の写真はなかったような気がするが、）写真から森の移り変わりを楽しむことができる。 自然の美しさを最大限活かした写真集であると言える。			
	1-240ページ	240P (20分)	真ん中から少し後ろの 30ページぐらい	2019/11/30 13:16:34

呂布バルサン ☆☆☆☆	僕は風景を眺めることが好きなタイプなので、 このような本は、まさに僕が読みたいものだった。 屋久島に行きたくなる一冊。 しかし、万人受けはしないと思う。			
	1-240	240P (45分)	30-50	2019/11/30 11:31:01

anknownnnn	大人の絵本という感じ			
------------	------------	--	--	--

☆☆☆☆	1-240	240P (20分)	なし	2019/11/29 23:51:23
読書好きSS ☆☆☆☆	日常では決して見るこのできない森林の景色の全てがこの一冊に詰まっています。実際に大自然に行くことがなかなかできないという人でもこの本を読めば自然を感じ、必ず癒されると思います。疲れている時などにぴったりの一冊です。			
	1-240	240P (20分)	1-223	2019/11/16 20:22:47
4階堂ふみふみ ☆☆☆☆	自然を見ると疲れが本当に取れる。 目も心もすぐ癒されました。 実際に見てみたい物も多く、今度知床に行ってきます			
	全て	240P (30分)	174	2019/11/15 11:09:49
ネム ☆☆☆☆	題名の通り、森の写真集です。様々な気候における森の写真となっており、ちょっと世界一周した気分を味わえます。個人的には、森の中で川が流れている様子がとても好きです。目に優しい本でした。			
	全部	240P (30分)	139	2019/11/15 10:40:59
藤吉友香 ☆☆☆☆	題名の通り『森』の写真集。緑々しいものもあれば、綺麗な紅葉に染まっているもの、霧がかかり幻想的なものなど様々な表情を見れました。 あとがきにある写真家の感想は、各国を旅したこその言葉で非常に感銘を受けた。 エディンバラ(→都市設計の授業で出てきました)の風景である174の写真のようところに住みたいです。 (個人的には、この本の匂いが少し苦手です。)			
	2-239	238P (40分)	56 174 あとがき	2019/11/12 11:19:06
gomatamago ☆☆☆☆	何となく手に取ってみたが、大自然の雄大さを感じることができ、気づいたら本の世界に飲み込まれていた。自然の景色の美しさは、人工では作れないものだと思えて感じた。			
	全て	240P (15分)	螺旋状の木	2019/11/12 10:41:29
なんこう ☆☆☆☆	さまざまなスケールの森を見ることができて面白かったです。全体図よりスケールが小さい方が好きなんだなと感じました。			
	1-240	240P (10分)	58-59	2019/11/08 10:27:08
焼肉 ☆☆☆☆	ここではないどこかに行きたい人は是非この本を見て、自分が、この本に載っている写真の中にいるイメージをしてみてください。少し気分が軽くなると思います。			
	1-240	240P (15分)	1-30	2019/11/05 10:36:36
Azasu ☆☆	森の写真だけの本。まず自分だったら買わない本ただけに新鮮だった。ただ、私は森の写真を見ても癒されるようなことはなかった。感受性が欠如しているのだろうか。			
	全て	239P (15分)	101-102	2019/11/01 10:43:13
エロエロ仙人	ただひたすらに自然を感じることができる			

☆☆☆☆	心がとても落ち着くので何か悩みとか不安があるときにこれを見ながら寝るとスッキリしそうで普段の生活では決してみることができない景色をみることができるのがいい			
	1-240	240P (15分)		2019/10/28 14:18:36
クロワッサン ☆☆☆☆	本当に森のみの写真集だった。最後のページに写真の説明文がまとめて載っているのだが、各ページごとに書いてあると読みやすいと思った。中でも雪中の森が目を非常に引いた。			
	1-240	240P (15分)	196-201	2019/10/25 12:44:41
SS ☆☆☆☆	世界の自然の素晴らしさ、尊さを教わった。この素晴らしい自然たちを守るために我々は環境問題に真摯に取り組まなければならない。			
	1-229ページ	229P (180分)	146-152	2019/10/15 17:20:36
もつし ☆☆☆☆	世界中の森などが撮られた写真集です。多くの木々のなかでも特にバオバブの木は迫力と神秘性があって写真を見ただけでも感動しました。普段意識して見ない自然のすばらしさを再発見でき、大切にしていかなければならないのだと感じさせられる本でした。			
	全部	240P (15分)	92-97	2019/10/15 14:14:10
オート ☆☆☆☆	世界中の大自然が感じられる一冊。 「アメリカ建国以来、その幹はわずかに2センチ太くなったに過ぎない」という言葉が、大自然に比べれば人間という存在はまだまだちっぽけな存在であることを実感した。 日本では絶対に見られないであろう景色をこの眼でも見てみたいと思った。			
	1-240	240P (10分)	103,143-144,178-179	2019/10/14 22:45:51
たこやき ☆☆☆☆	ひたすら森林の写真が並べられた本です。人の手が介入していない、ありのままの地球の姿を見ることが出来ます。個人的におすすめのポイントは92ページのバオバブの木の写真です。噂に聞くようにまさに木を逆さまにして植えたように見える大木には自然界の不思議な力を感じます。			
	1-240	240P (60分)	92-95	2019/10/12 16:32:30
ジャスミン ☆☆☆☆☆	旅心がぐすぐられました。本のなかに世界各国の景色がまんべんなくちりばめられていて、楽しかったです。オーロラなど見たことのない景色も多く、実際に行って見てみたいくなりました。			
	1-240ページ	240P (60分)	22,68,74,161,174,202 ページ	2019/10/10 13:10:33
Duo ☆☆☆☆☆	世界中の自然の美しさを一気に楽しめる一冊です。			
	1-239ページ	239P (45分)	42-43ページ、82-83 ページ、102-103ペー ジ、150ページ、186- 187ページ	2019/10/08 15:50:40
ピーナッツ ☆☆☆☆	自然の中にある色彩の美しさを感じさせてくれる写真が多く、気持ちが安らぎました。			
	1-231	231P (15分)	1-227	2019/10/08 10:35:17
nuknwon ☆☆☆☆	タイトル通り森の写真集がメインとなっている一冊。人工物のない自然が見せる様々な表情が一冊の中で描かれており、落ち着いた気持ちで読むことが出来る。日頃のストレスを解放したい方にオ			

	ススメ。			
	1-240	240P (20分)	雪景色のページ(ページ数が書いていない)	2019/10/08 09:12:33

ケケケ ☆☆☆☆	綺麗な写真が多いですが、自分が特に気に入った写真は吊り橋やベンチなどが森の中に溶け込んだような写真でした。立ち読みポイントにあげた写真もだいたいそんな感じです。個人的には最後の作者コメントが無粋に感じました。			
	1-240	240P (40分)	60,124,170,174	2019/10/08 07:05:09

ぴーっ ☆☆☆☆	読むべき本が活字ばかりできついなぁと思ったら、文字がほとんど含まれない本があり、手に取った。 時間をとって足を運ばなきゃ見れない景色を、手元に置いて眺められ、癒しの時間となった。			
	1-240	240P (50分)	全部	2019/10/04 10:45:25

きつなきせ ☆☆☆	見てるだけで心が落ち着く。 ずっと森の写真なので目の保養になる。			
	全部	240P (60分)	50	2019/10/04 10:40:56

アツ ☆☆☆☆	様々な風景を写真集として載せた本。文字はほとんどないので気楽だった。幻想的な写真が多く引き込まれた。			
	1-240	240P (60分)	50～65	2019/10/04 09:03:35

hori ☆☆☆☆	見てるだけで癒される、そんな本です。都会に住み、自然に触れることができない私たちが、それを本を通じて知ることができます。 個人的には雪景色が好きでした。			
	1-240ページ	240P (40分)	200-201ページ	2019/10/04 09:00:24

鈴 ☆☆☆☆	森の写真集です。バラバラとみれ、非常に読みやすい本です。写真をみて風を感じる、なんて描写が小説ではありがちですが、初めてそれを体感したような気がしました。素敵な写真が詰まっています。本の後ろについているコメントをじっくり読みながら写真を見返すとなお、見方が深まってオススメです。			
	1-240ページ	240P (120分)	50、60、143	2019/10/01 08:03:49

MEHIWO ☆☆☆☆☆	森の写真以外のものも多数ありました。巻末に撮影者のコメントと場所が記載されているのでそれをみながら見るのがオススメです。海外の写真が多く、新鮮なものが見られます。地理の資料集で見たことあるものとか…。シュバルツバルト(黒い森)とか、オーロラなどが綺麗に映し出されていて文字は無いですがとても良い本です。自然が好きな人は何時間でも読めると思います。			
	全部	239P (30分)	34- 35,50,61,142,182,214	2019/09/27 10:19:09

紅いもたと ☆☆☆☆☆	小題の他はあとがきまで文字のない写真集である。どの写真も世界中の風景を収めたもので色彩も豊かで眼福である。INDEXに記載してある写真ごとの感想も読みやすい。103ページ大渓谷の写真のエピソードは心が温まるものであった。			
	1-240	240P (15分)	103ページ	2019/09/27 10:04:06



死ぬまでに行きたい! 世界の絶景

著者名	詩 歩	発行年	2013年
出版社名	三オブックス	ページ数	155ページ
値段	1,365円	ISBN	978-4861996115
コメント	へえ、世界にはこんなところがあるんだ、とビューティフルな写真にわくわくページをめくれます。 でも単なる風景写真集ではありません。この絶景ポイントに行くにはどうしたら? と旅の経路や予算や、実際 行った人の感想やらが添えられている懇切丁寧なつくりです。 ただ懂れるだけでなく、えいっっ! て行ってみたいくなる。わくわく度アップなつくりが◎。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勤め度	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
-------	------	-------	--------------	------	----------	------

新世界の神 ☆☆☆	この本の風景をみることで満足してしまった。 実際に生で見たら感動するのだろうか、お金と時間をかけていくとなるとどうかなあと思ってしまった。			
	1-157	157P (20分)	特になし	2019/12/02 01:59:36

神楽 ☆☆☆☆	おーっと思わず声が出てしまった。 絶景と共に行き方と予算が書いてあってよかった。 知らない国も出て来て新しい世界を見れた。 地元の呼び名がわかって面白かった			
	全部	157P (10分)	16ページ	2019/12/01 21:15:29

mt8 ☆☆☆☆☆	写真きれいすぎる。写真でこのレベルなら実際に行ったら。。。 カメラ男子になりたいと思った。 個人的死ぬまでに行きたい世界の絶景はウユニ塩湖。			
	全部	155P (30分)	全部	2019/12/01 20:34:19

gauss ☆☆☆☆☆	これならさっと読める 綺麗な写真ばかりでいってみたいなーと思った こんな写真を撮れるようなカメラもほしい笑			
	全部	155P (30分)	全部	2019/12/01 02:52:47

onakasuita ☆☆☆☆☆	世界中の絶景の魅力が伝わる写真ばかりなのが良い。 次のページに観光プランが紹介されているのがなお良い。			
---------------------	--	--	--	--

	日本の観光地がないのは、この本とは別に日本の観光地版が出版されているからであろう。			
	1-155	155P (30分)	絶景52	2019/11/30 13:58:55
donarudo ☆☆☆	実はまだ海外に行ったことがないので、とても行きたいなと思った。このような場所を巡ってみたい。			
	全部	155P (30分)		2019/11/29 10:37:28
読書好きSS ☆☆☆	世界の絶景が臨場感ある写真と実際にその土地を訪れる際のサンプルプランや予算、オススメの時期など書いてあって実際にその地に足を運んでみたくなる一冊でした。			
	1-155	155P (20分)	141,143ページ	2019/11/28 14:44:00
焼肉 ☆☆☆	日々の生活に疲れているというそのあなた！ 少しリラックスしましょう。この本を読むことで、世界の大きさを実感して、自分の悩みが小さいものに思えてきたら、少し気持ちが晴れると思います。			
	1-155	155P (30分)	50-70	2019/11/28 12:54:47
55 ☆☆☆☆	日本版のを見た後に世界のを見たが、日本の景色とは違ってまたいいなあと感じた。 本のタイトル通り、死ぬまでに行ってみたいところがたくさんあった。			
	1-155	155P (60分)		2019/11/27 18:49:26
呂布バルサン ☆☆☆	絶景に植えていたので選びました。 写真だけでも、十分迫力があつた、 機会があれば、現地で見てみたい			
	1-40	40P (30分)	20-30あたり	2019/11/27 18:06:06
上 ☆☆☆☆	ヨーロッパに行く機会が今まで結構あったがあまり絶景は見てこなかったなので、これから絶景もプランに入れようと思った。			
	全部	155P (30分)		2019/11/25 18:08:07
ネム ☆☆☆☆	一度ハワイ島で星を見たことがあるのですが、その時の光景を思い出し、懐かしい気持ちになりました。マープル・カテドラルと地獄の門は人生で一回は見てみたいです！			
	全部	155P (30分)	77	2019/11/15 10:35:36
オート ☆☆☆	世界の絶景を実際に見にいきたくなる一冊！ さらに絶景の写真だけでなく、日本からの行き方や旅費など詳しく記載されているので、絶景がより身近に感じます。 気軽に読めるのでオススメ！			
	1-155	155P (30分)	44-49,141,	2019/11/15 01:17:28
SS ☆☆☆	世界の絶景を楽しめる事が出来た。全部行くのは不可能だご、死ぬまでに何個かは行きたいと思った。こんな美しい絶景がたくさんあるなんて、やはり世界はすごいと思った。			

	1-155	155P (120分)	141	2019/11/01 22:49:23
もつし ☆☆☆	世界の美しい写真と実際に旅行してみた場合の金額や注意点などが書かれています。とても幻想的でこころ奪われる写真がたくさん載っているので、海外旅行に行きたいと考えている人だけでなく、きれいな景色の写真を見るだけでいいと思ってる人でも楽しめると思います。			
	全部	155P (60分)	48-49	2019/10/30 16:57:47
MK ☆☆	海外旅行に憧れがあるので、この本を読むと行きたい場所がさらに増えました。1つ1つに旅行の計画例があって実際に行ったような気分になれたのは面白かった。			
	1-155ページ	155P (30分)	48-49	2019/10/24 13:00:52
焼肉 ☆☆☆	パラパラと写真だけめくって、景色に癒されるのもいいと思います。一冊で世界の絶景を堪能できます。			
	1-155	155P (100分)	10-11	2019/10/24 10:59:28
4階堂ふみふみ ☆☆☆	世界旅行をしてみたい気持ちになりました。日本にはない地形や建物に美しさを感じました。ウユニ塩湖を実際に見てみたいと思いました。			
	全て	155P (30分)	84-85	2019/10/21 23:23:29
まなつ ☆☆☆	きれいな景色がたくさんありました。台湾のランタンは生で見たことがあります。ギリシャの街並みは大人になったら見に行きたいです。			
	1-155	155P (5分)	絵だけ	2019/10/18 09:01:12
なんこう ☆☆☆☆	どれも美しい写真ばかりで見ていて楽しかったです。その観光地までの大まかな費用や観光ルートの例まで乗っていて意外にも絶景は身近だなと感じられる本でした。			
	全て	155P (30分)	140-141	2019/10/18 07:22:53
Azasu ☆☆	世界の果てまでいってQでみたことのあるような神秘的な写真が並ぶ。この本の良いところはそれだけではなく、実際にそこに行くまでの旅費や経験談を同時に掲載してくれているところである。ゆえに、本書は旅行の行き先を決める際の良いお供となるだろう。			
	全部	155P (60分)	116-119ページ	2019/10/15 10:47:00
hori ☆☆☆	どこも美しい景色でした。しかも写真一つ一つにつき、大まかな行き方が記されています。僕は南極大陸のオーロラを生で見てみたいです。			
	1-155	155P (60分)	140-141ページ	2019/10/10 15:05:25
星のロミ ☆☆☆☆	本の題名の通り、死ぬまでに行きたいと思える世界の絶景が写真付きで紹介されている。有名な場所だけでなくあまり知られていないのではないかと場所もたくさん紹介されている。旅行に行きたいとき、行き先を決めるのにもってこいの一冊である。			
	全て	155P (100分)	141	2019/10/08

ぴーっ ☆☆☆☆	どこも一度は訪れてみたいところでした。 特に行きたいと思ったところを厳選して立ち読みポイントにしました。 旅の予算やオススメの季節、旅の注意点等も書いており、旅行先を決める時にもってこいの一冊だと思います。			
	1-155	155P (80分)	21,48,112,121,141	2019/10/08 11:57:28
紅いもたると ☆☆☆☆	自然の力強さを感じさせられるダイナミックな景色や人工物のように均整のとれた美しい景色の数々をまとめたガイドブック。お金と時間の関係で行けない場所も多いと思うが、想像するだけで旅に行ったような気持ちにさせられる。日本編もおすすめ！			
	1-155	155P (60分)	64	2019/10/08 09:03:49
鈴 ☆☆☆☆	素敵な景色がたくさん載っています。各写真ごとにその土地へ旅行する場合のプランや予算が載っているので、「あ、ここ行ってみたい」と思ったときに、ポジティブにもネガティブにも現実的に考えられます。掲載されていた世界の絶景はどれも綺麗でしたが、個人的には、日本の魅力を再発見できた点が一番良かったと思います。日本編も読んでみたいです！			
	1-155ページ	155P (120分)	12ページ、141ページ、152ページ	2019/10/04 07:41:50
IIDX ☆☆☆☆	なにも考えずに綺麗な写真を眺めているだけで行った気になれるのがこの本の最大のいいところ。写真→詳細→写真…の繰り返しによって構成されていて、詳細のページには、予算、注意点、経由空港などの基本情報が載っている。この情報がかなり有益で、実際に旅を計画するときに役立つのは間違いないだろう。			
	1-155ページ	155P (120分)	8-10ページ	2019/10/03 21:23:56
たこやき ☆☆☆☆	もちろん世界の絶景の写真を見ているだけでも十分楽しめます。しかし、この本の良いところは、筆者がおススメの旅の行程を提示してくれるなど、具体的な旅のイメージがつかみやすいところにあります。そのため、実際に足を運んでみようと思うきっかけになってくれるはずです。			
	1-155	155P (60分)		2019/10/01 14:54:07



死ぬまでに行きたい！世界の絶景 日本編

著者名	詩 歩	発行年	2014年
出版社名	三オブックス	ページ数	169ページ
値段	1,296円	ISBN	978-4861997051
コメント	世界編よりも、行きたいなあ！ の気持ちをもっと現実性をとまなって湧いてきます。そうやって「憧れ」という引き出しのなかの絵はがきの枚数を増やしてゆくのは、なんだかうれしい気分。96ページ青ヶ島の全景は圧巻です。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
新世界の神 ☆☆☆	適当に眺めてめくっているだけで面白かった。なぜ絶景は見ているだけで癒されるのか。			
	1-169	169P (20分)	特になし	2019/12/02 03:08:22
神楽 ☆☆☆☆	国内なのに知らない場所が沢山あって驚いた。日本なら少し気軽に行けそうなので、春休みとかに行ってみようと思った。特に気になったのが熊本県にあるラピュタの道である。パラパラまくるだけでも充分に面白い本であった。			
	全部	157P (10分)	36～37ページ	2019/12/01 21:18:16
まなつ ☆☆☆☆	大学生のうちに行ってみたい場所がたくさんありました。特にひまわりが大好きなのでひまわり畑には絶対に行こうと思います。			
	1-169	169P (10分)		2019/12/01 18:45:41
中村憲剛 ☆☆☆	あまり観光地として有名でないスポットでも日本には絶景がある！春休みの旅行はこれを参考にしてもいいかも。			
	全部	169P (60分)		2019/12/01 16:22:19
gauss ☆☆☆☆☆	日本にもたくさん絶景があるんだなと思った やっぱり日本は最高 この景色を全部回れたら詩人になれそう			
	全部	169P (30分)	全部	2019/12/01 02:55:25

上 ☆☆☆☆	日本にもまだ行ったことのない絶景が多くあるということが分かった。海外旅行もいいが国内も捨てたものじゃない。			
	1-169	169P (30分)		2019/12/01 01:49:26
鈴 ☆☆	こういう本で見ると、今まで旅先の候補にならなかったような県についても、あ、こんな魅力あるんだ、と気づけていいなと思います。著者の詩歩さんが実際に旅行に行ったときの話など、そういうところはかなり興味をそそられました。			
	1-169	169P (60分)	80-83、131	2019/11/30 13:31:23
donarudo ☆☆☆☆	世界版を見てから日本版を見たが、やっぱり日本もいいなと感じた。このような場所を時間をかけて巡ってみたい。			
	全部	169P (169分)		2019/11/29 10:40:15
焼肉 ☆☆☆☆	長い休みなどに旅行に行く際の参考になると思います。日本にもまだまだ行きたくあるようなところがあるんだなぁと実感しました。			
	1-169	169P (30分)	50-70	2019/11/28 12:59:12
55 ☆☆☆☆	綺麗な景色は見ててスッキリするので良い。 楽しい。			
	1-169	169P (60分)		2019/11/27 18:44:31
nuknwon ☆☆☆☆	勉強の疲れた時間に癒されるのにぴったり。今いる日本とは思えないほどの絶景の数々に日頃見ている世界がどれだけ狭いのか思い知らされました。			
	1-169	169P (30分)	35ページ	2019/11/16 14:54:19
クロワッサン ☆☆☆☆	日本の四季折々の景色がたくさん載っていて日本っていいなと再認識しました。自分のお気に入り桜と菜の花が一面に広がる25ページの写真です。行ってみたいと思いました。			
	1-169	169P (40分)	25ページ	2019/11/12 14:55:51
4階堂ふみふみ ☆☆☆☆	日本の景色の素晴らしさがよくわかる本でした。 休みの日にふと旅をしたくなり、いろいろなところに旅行してみたいと好奇心の掻き立てる本でした。 改めて、日本っていいところだと感じました。			
	全て	157P (60分)	76、77ページ	2019/10/18 09:04:28
きつなきせ ☆☆☆☆	春休みに行ってみたいと思える場所が何個もあって見てて楽しい。綺麗な景色ばかりなので見てて癒される。			
	全部	157P (30分)	76	2019/10/12 20:15:53
たまきち	一冊買って一生持っておきたいと思える本。			

☆☆☆☆☆	普段の生活では絶対に見ることのできない景色が沢山乗っており、ページをめくるたびに驚かされる。 立ち読みポイントに選んだ青ヶ島は思わず二度見してしまうほどの不思議な地形。これ以外にも沢山の不思議で魅力的な景色が乗ってるので是非読んでみてほしい			
	1-157	157P (60分)	96ページ	2019/10/08 12:17:19
MEHIWO ☆☆☆☆☆	これから冬にかけて行きたいところがたくさん見つかりました。世界の絶景、となると足が出づらいところも、日本の絶景となると明日にでも見に行きたいとなるのが不思議です。 以前コスモスを見に行った国立昭和記念公園も、本に載っている銀杏並木を見にもう一度行こうという気にさせられました。			
	全部	169P (50分)	60,76	2019/10/07 14:42:03
紅いもたと ☆☆☆☆☆	こんなに魅力的な場所が日本に沢山あると知れて感動した。旅のお手伝いをしてくれる予算目安や周辺のオススメスポットも掲載されており今すぐ出かけたくなる。これから寒くなっていく時期にぴったりの場所を立ち読みポイントに選出！ あなたの知らない日本がここにある。			
	1-169	169P (45分)	56,58	2019/10/04 08:08:42

[TOP](#) ^



一度きりの人生 絶対に行きたい夢の旅 50

著者名	高橋 歩	発行年	2014年
出版社名	A-Works	ページ数	240ページ
値段	1,400円	ISBN	978-4902256598
コメント	絶景人気にお応えしての追加です。 ただなんとなくの名所巡りではなく、明確に目的・コンセプトのある旅の魅力。若くてチャレンジングなうちに、ぜひどうぞ。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
D・Bクーパー ☆☆☆☆	面白かったです。年末、タイムズスクエアのカウントダウン楽しんでいます			
	1〜30	30P (10分)		2019/11/30 17:36:02
4階堂ふみふみ ☆☆☆☆	私はお金を使う習慣があまりなく、使うことに興味がなかったけど、世界の景色を見に行くのにお金を使うのもいいなって思いました。 ブランドものを買うよりも、価値のある経験がしたいな。			
	全て	227P (30分)	170-173	2019/11/16 01:19:22
中村憲剛 ☆☆☆☆	成田からフィンランドまで直行便で行ける！ オーロラ見なくなってきました！ いろんな観光地が載っていて費用や行き方、ベストシーズンもろもろ情報盛り沢山です。			
	1-227	227P (30分)	90ー93ページ	2019/11/01 11:14:16
結城楓 ☆☆☆☆	所謂絶景を一度に摂取できるのでとても楽しいです。目に優しすぎる。かかる費用や頼るべき旅行会社が書かれているのは良いなと思いましたが、実際に想定しているプランがあるとより楽しめそうです。スペインのひまわり畑がとても素敵でした。日本以外の場所ばかりなのは日本人の「絶景」のイメージを象徴している気がします。			
	1-81ページ	81P (50分)	どこを読んでも良い	2019/11/01 10:38:42
きつなきせ ☆☆☆☆	美しい景色ばかりで、癒される。 本を読むのに疲れたらおすすめ。			
	全部	227P (30分)	62.63	2019/11/01 10:38:40

ケケケ ☆☆☆☆	世界中の綺麗な観光地が収録されています。お金があれば行ってみたいところばかりで読んでいて楽しいです。これを読めば他の観光雑誌なども読みたくなるような一冊でした。			
	1-219	220P (40分)	46ページ、178ページ	2019/10/31 23:57:07
ピーナッツ ☆☆☆	細々とした日常の物事から離れて壮大な自然に行きたい、と思わせる美しい場所が多々紹介されていました。また、過去に訪れた土地もあり、懐かしくなりました。			
	1-227	227P (35分)	90	2019/10/29 09:01:28
紅いもたると ☆☆☆☆	実は私、この手の本って大好きなんです。夢と想像（妄想？）が加速する感じがいいんです。特に本書は圧巻の写真に好奇心が刺激されます！オススメの時期や所要時間・金額が書いてあるのも嬉しいポイントです。 こんなに素敵な場所が地球にあると思うとワクワクします。活力が欲しい時やリラックスタイムにもってこいです。			
	1-240	240P (60分)	22-25	2019/10/26 21:32:15
ジャスミン ☆☆☆	海外旅行に憧れを持ち、この本を読んでみました。世界の様々な絶景を目にすることで、実際に行ってみたくなるところがたくさん出てきました。個人的には、南極に行けることが驚きでした。具体的な行き方や費用なども書いてあって、これをもってそのまま旅に出たくなるような本です。			
	1-235ページ	235P (120分)	206-209	2019/10/21 01:31:11
hori ☆☆☆	世界でした美しい絶景とその行き方が記されています。値段から時間、時期、旅行会社まで、とても細かく分かりやすいです。 私は是非ともウユニ塩湖に行ってみたいです。			
	1-227ページ	227P (60分)	46,47ページ	2019/10/15 15:07:32
読書好きSS ☆☆☆	世界の絶景と臨場感あふれる風景画と一緒に掲載されていてまたその丁寧なコメントや旅行のための詳細情報などから読んだらその地に絶対行きたくなってしまいう一冊です。			
	家	168P (30分)	26-39	2019/10/14 16:23:16
もつし ☆☆☆	誰もが一度は訪れてみたいと思う絶景が紹介されていて、世界にはこんなところがあるのだなと非常にワクワクしました。また行き方や予算なども参考として掲載されていて、実際に行く際のイメージがわきました。			
	1-227	227P (100分)	46-49	2019/10/11 16:08:51
kk ☆☆	旅に出るきっかけになる本だと思う。人生でいきたいと思う場所をリストアップするのに便利。旅費の計算方法に一貫性がないので勘違いする人も多いと思う。			
	1-227	227P (60分)		2019/10/10 17:50:24
クロワッサン ☆☆☆☆	写真を眺めているだけでも楽しい一冊。どのページも綺麗な風景で最後まで読みごたえがありました。旅費なども書かれており実際に旅行をするさいも役立つ本でした。中でもアマルフィのページが気に入りました。			
	1-227	227P (100分)	78 アマルフィ	2019/10/07

たこやき
☆☆☆☆

もちろん本のタイトル通り数々の絶景の紹介があり、美しい景色を見て、将来、金銭的な余裕が生まれたら行ってみたいと思わせてくれます。それだけでなく、周辺の観光地や具体的な予算、さらには旅行会社の紹介など、旅行のプランをイメージしやすく、旅行に行くことを想像するだけで楽しい時間を過ごすことが出来ました。

1-240

240P (300分)

2019/09/30
18:55:42

[TOP](#) ^



世界の廃墟

著者名	佐藤 健寿	発行年	2015年
出版社名	飛鳥新社	ページ数	120ページ
値段	1,900円	ISBN	978-4864103923
コメント	人が去り、建物が残る。それが廃墟。つくった人の意図から全くはずれた雰囲気を出しちゃうところが、おもしろさ、なんでしょうね。 テムズ河口のトーチカ群の空撮が、太鼓の行進みたいで、かわいい。行ってみたいところはありませんか？		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
アツ ☆☆☆☆	廃墟の時代背景を垣間見ることができて、廃墟について何も知らなくても楽しめました。			
	1-120	120P (30分)		2019/12/01 23:11:06
D・Bクーバー ☆☆☆☆☆	廃墟好きには堪らなかった			
	1〜30	30P (20分)		2019/11/30 17:34:53
anknownnnn ☆☆☆☆☆	以前は廃墟にはあまり興味がなかったが今は実際に行ってこの目で見てみたくなった			
	1-120	120P (20分)	無し	2019/11/29 23:55:21
読書好きSS ☆☆☆☆	全くみたことのない世界の数々の廃墟の写真が載せられていた。写真がメインで少し説明があった。説明も短くて読みやすく、わかりやすかった。			
	1-120	120P (20分)	24-29	2019/11/28 15:29:34
ネム ☆☆☆☆	長崎に旅行した際、軍艦島に訪れたことがあるのですが、観光客は立ち入り禁止で見れない部分も見ることができ、とても良かったです。廃墟に立ち入るのはなんとなく怖いですが、映画の撮影に使われそうなものにワクワクしました。			
	全部	120P (30分)	file7	2019/11/15 10:47:54
いなり ☆☆☆☆	通常ならおそらく行かないであろう場所がたくさん見られる。この本を読んで廃墟は不気味ではあるがどこか美しいと思った。それぞれに歴史があって趣を感じた。			

	全て	117P (30分)	55前後	2019/11/01 10:42:47
--	----	------------	------	------------------------

たこやき ☆☆☆	世界中の荒廃した景色を収めた写真集で、映画の撮影などに使われそうな不気味な写真が並んでいる。廃墟になるのには、戦争、資源、資金、災害など必ず理由があり、それを想像しながら建設者の思考を読み解くのがこの本の醍醐味だと思う。			
	1-117	117P (60分)	54	2019/10/26 14:45:10

JM ☆☆☆☆	その建物がどのようにして廃墟になったのか、また今どうなっているのかがある程度わかる本。廃墟好きにはいい本なのかもしれない。			
	全て	117P (30分)	24-29	2019/10/25 07:31:01

nuknwon ☆☆☆☆☆	神秘的なもの、人間の負の遺産が織り混ざった写真集であり、妙な落ち着きをもたらしてくれる一冊。これからこの本に載るかもしれない日常の風景をいくつか思い出してみても面白いかもしれません。			
	1-120	120P (30分)	52-55 ジーゲル駅 92-97 チェルノブイリ	2019/10/18 09:07:36

まなつ ☆☆☆☆	廃墟と言言に言っても色々な写真が載っていておもしろかったです。私の想像する廃墟とは全く異なるものもたくさんありました。南極の写真がとてもきれいでした。			
	1-120	120P (5分)	絵だけ	2019/10/18 09:02:49

なんこう ☆☆☆☆☆	廃墟といっても様々な種類があるんだなあと思いました。人工物が手を加えられなくなり廃れていく様はどうして人を惹きつけるのでしょうか、すごく神秘的で面白かったです。			
	1-117ページ	117P (30分)	12-15ページ	2019/10/15 10:45:35

Azasu ☆☆☆☆☆	廃墟とは人の手から離れた建物であり、そこにある種人智を越えたような魅力を感じるだろう。特に、表紙にも採用されているブルガリア共産党ホールはまるでSFの世界に迷い混んだような魅力があり見所がある。			
	全て	117P (30分)	24-29	2019/10/10 11:23:00

hori ☆☆☆☆☆	某テレビ番組で有名な写真家さんの本です。廃墟には不思議な魅力がありますよね。一つの写真をずっと眺めるなんてこともありました。ちなみに僕は、表紙にもなっているブルガリア共産党ホールがオススメです。実際に行くことができる場所なんで、死ぬまでに一度は生で見たいです。			
	1-118ページ	118P (30分)	24-29ページ	2019/10/04 10:55:07

davi ☆☆☆☆☆	テレビなどのメディアでもあまり放送されない見たことのない絶景を味わえます。荒廃しているのにもかかわらず、なぜか心惹かれ時間を忘れて見れました。			
	1-118	118P (55分)	24-27.34-39	2019/10/01 09:51:37



絶対に行けない世界の非公開区域99

著者名	ダニエル・スミス	発行年	2014年
出版社名	日経ナショナルジオグラフィック社	ページ数	255ページ
値段	2,200円	ISBN	978-4863133013
コメント	自然が作りだした絶景に対して、こちらは人が作りだした珍景と言うべきか。人目をばかする軍事に悪事、地下に潜ることがやっぱり多いですね。 コカコーラのレシビを、警備員付きのごつつい金庫のなかにしまいこむなんて、アメリカ人もお茶目だなあと思っちゃいました。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勤め度	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
-------	------	-------	--------------	------	----------	------

神楽 ☆☆☆	行けないということだから暗い側面もあった。 行けないというだけあって、写真が空から撮った写真も多くあり、結局なにがあるのかよくわからないところがあった。 なにがあるか、よりも存在するか、を知ることは重要なのでその意味ではこの本を読んだり見たりする価値はおおいいにある。			
	全て	247P (20分)	22～23ページ	2019/12/01 22:12:38
ankownnnnn ☆☆☆☆	この本に載っている場所は世界の様々な非公開区域の中の有名どころだけで他にも様々な非公開区域があると考えるとわくわくしてくる。			
	1-247	247P (90分)	なし	2019/11/29 23:47:20
davi ☆☆☆☆	この本は面白いところと面白くないところの差が大きいので、全部読むというよりは興味あるところをパラパラ見ていった方が良いと思う。 自分らが住んでいる現代社会の生活地とはかけ離れた原生的でかつ荒廃した土地を視覚的に楽しめた。			
	1-255	255P (100分)	160ページ前後	2019/11/23 15:30:36
ぴーっ ☆☆☆	朝鮮半島の非武装地帯が危険であるが故、人間に影響されず、意図せず自然保護区のようになっているそう。 平和と危険が共存してるその空気感を感じてみたいと思った。			
	興味がある部分	82P (90分)	232-234	2019/11/12 16:16:12
日常	世界中の公には公開されていないような地区が紹介されており興味深かった			

☆☆☆	1-254	254P (50分)	106-108	2019/11/12 00:27:47
SS ☆☆☆☆	世界の様々な非公開地域の秘密と概要がとても興味深かった。行けないけど、行ってみたいとも思った。			
	1-247	247P (300分)	118-120	2019/10/29 09:01:57
紅いもたと ☆☆☆☆	世界中のわけアリ地域にスポットライトをあてる秘密の書。お届けするのは世界のニュースや驚きの事実の発信を手掛けるナショナルジオグラフィック！ 立ち読みポイントに選んだスバルバル世界種子貯蔵庫にはすべての植物の種子が保管されているらしい。ロマンがあるなあ。			
	気になるところ	31P (40分)	150-152	2019/10/26 21:22:21
ピーナッツ ☆☆	今日では、私生活ではプライベートが重視される一方で、公的な生活では透明性が重視される。そんな中、公的でありながら(本書では私的な場所も含まれているが)非公開であり続ける場所には各々そうである固有の理由があり、興味深かった。			
	1-161, 210-239	190P (110分)	18-20	2019/10/18 09:01:17
55 ☆☆	興味の持てる場所(?)に関しては楽しく読むことができるが、あまり面白いと思えない見出しのものに関しては文字数も多く読む気が起きないため飛ばしてしまうものが多かった。 それでも実際には行けないところについて色々紹介されているので新たな情報はたくさんえることができた。			
	興味あるところ	255P (20分)		2019/10/15 09:06:37
もつし ☆☆☆☆	世界で極秘とされている活動が行われている場所などについて書かれていて、好奇心をくすぐられました。子どものころに「宇宙人はいるのか?」や「アメリカが行なっている秘密の実験とは?」のような世界の未解決の謎について考えていたころを思い出して、ワクワクしながら読んでいました。			
	興味のあるところ	156P (70分)	30-32,55-56,236-239	2019/10/06 19:16:51
藤吉友香 ☆☆☆☆	インパクトの強い題名に惹かれ読み始めました。 写真とそれに関する説明があり、読み進めていくうちにいろいろなことを知れるので読んでいて飽きるということは全くありませんでした。 軍事関連の写真は多いものの、コカコーラに関するものであったり、砂漠に広がる建造物などジャンルが異なる題材も多く取り上げているので、自分が気になったところだけ読み漁る「濫読」を行うのに最適な本です。			
	12-247	236P (90分)	36-38 138 196-198 206-208	2019/10/04 11:39:56
nuknwon ☆☆☆☆	普段見ることの出来ない、画面、書面上でしか閲覧できないであろう風景をいくつも感じることで一冊でかなりの満足度を得られた。現在の世界情勢を理解するためには必ず知っておきたいような地域がいくつも載っている。どうして人は争いこのような地域を生んでしまったのか、非常に考えられさせる本書です。			
	1-255	255P (70分)	159-161、182-183、 232-234	2019/10/04 08:55:39
hori ☆☆☆☆	絶対に行けないのなら、本で読むしかない。 他の写真集とは一線を画し、人間が作ってしまった異様な光景を数多く見ることができる。			

写真それぞれにそれができた背景が説明されており、写真の深みを増している。
一つだけ行けるなら、私は法医人類学研究施設（通称、死体農場）に行ってみたい。

1-255

255P (40分)

48-49ページ

2019/09/27
21:44:15

[TOP](#)△



絶対貧困

著者名	石井光太	発行年	2011年
出版社名	新潮文庫	ページ数	323ページ
値段	540円	ISBN	978-4101325323
コメント	石井光太さん。私たちがおそらく一生関わらずに「済む」（←この2文字をゴチックとして読んでください）であろう世界を、ここまで深く、たしかに、かつ明確な主張とともに届けてくれる書き手さんを他に知りません。 山室的立ち読みポイントは ・55-56ページ　メイちゃんのお母さん ・164ページ　花売りビジネスモデル ・292-3ページ　売春宿の子供は高学歴		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
フツ化ホルミル ☆☆☆☆	筆者の実際の取材とデータに沿って話が展開されていくので、とても読みやすいと思う。 日本では(ましてや東工大生では)あまり縁のないような世界であろうから、中身を知ると新鮮味を感じるとともに、システムのな部分は意外とちゃんとしたものがあって感心した			
	3-323	320P (300分)	第三講	2019/12/01 22:41:47
とうふ ☆☆☆	現実のスラムがありありと書かれていて、興味深かった。写真もあり想像しやすくすらすら読めた			
	1-198	198P (130分)		2019/12/01 01:00:49
エロエロ仙人 ☆☆☆☆	絶対貧困というタイトルから固そうな本かなと思っていたがいきなり最初のページでセックスや自慰などのワードが出てきたりして、文章が読みやすかった。 日本に住んでいるだけじゃ知ることのできない世界の貧しい地域の現状を知ることができる。世界の現状を知ることが大事だと思ったしこの本を読んでよかったと思ってる。 私は売春についての章しか読んでないがこの本はオススメ。			
	3-6 246-323	81P (65分)	3-6	2019/11/13 20:09:21
Go ☆☆☆☆	面白い。何が面白いかというと、絶対貧困下での人々の日常から性の営みまで余す所なく描かれているからだ。作者自身が現地に赴き、共に生活した体験が主軸なので、まるで自分が現地にいるような錯覚を起こす。 小説のような軽快さを持ち、ユーモアセンスに溢れた一冊なので必見。			
	130-151,その他少し	40P (40分)	145-147	2019/11/04 10:17:45

chemeng ☆☆☆☆☆	日本人にとって、スラムはスラムドックミリオネアのような映画の中でしか見るできないものであり、ある種のファンタジーのように感じられるかもしれません。そんなおとぎ話のような現実がこの本には書かれています。内容は重くないので気軽に読んでみるといいかもしれません。			
	16-95	80P (50分)	36-73	2019/10/20 23:11:10
kk ☆☆☆☆☆	世界各国のスラム街の実情を面白おかしくわかりやすく説明してくれている。少し考え方がスラムの人たちに寄ったものではあると思うが自分が見てきた立ち位置とは違う意見を得ることができてとてもよかった。			
	1-323	323P (180分)		2019/10/15 13:00:04
ハンニバル ☆☆☆☆☆	題名が重いので、真面目で読んでて辛くなる本かと思っていたのですが、全く違います。明るい筆致でかかれ、とても読みやすいです。 しかも貧困の実態を面白おかしく書いてあるわけではありません。 筆者の失敗談を真面目な話に交えることで、決して暗くしないのです。 貧困層がどのような生活を送っているか、とても学びやすい一冊だと思います。			
	1-323	323P (250分)	116~123	2019/10/06 20:43:26
Azasu ☆☆☆☆☆	日本ではまず目撃することのないスラムに住むような貧困層、そのなかでも特に貧しく1日あたり1ドル以下でくらす[絶対貧困]の現実を描いた本である。 貧困者はその衣食住が満たされることはなく、その日その日を生きていくのがどれだけ大変か知るだけでなく、我々がいかに恵まれた環境にいるのか改めて実感するだろう。 この本には、障害者の方が物ごいをする際お金を多くもらえる、中東の売春宿では白人が人気など教科書やTV等では決して見ることもない情報が書かれており衝撃的ではあるが世界の厳しさ、残酷さを実感できるだろう。			
	1-323ページ	323P (180分)	185-192ページ	2019/09/27 22:47:29

[TOP](#) [^](#)



死刑執行人サンソン

著者名	安達 正勝	発行年	2003年
出版社名	集英社	ページ数	237ページ
値段	700円	ISBN	978-4087202212
コメント	仕事として人を殺す。その不条理をプロフェッショナルとしての誇りを以て乗り越えていった、たくましく家系の男たちの肖像が、じつにいきいきと提供され、ギロチン華やかなフランス革命の奔騰のまっただなかに首根っ子ごと巻き込まれます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
Nd ☆☆☆	死刑制度について考える際に死刑囚だけでなく執行人の負担も大きいことを考えさせられた			
	220-239	19P (7分)	220-239	2019/11/21 13:53:19
Vava ☆☆☆☆	職業による差別、とくにこの話は人に死を与える特殊な職業のお話です。一族が村八分に合う苦悩を描いた短編的エピソードが紡がれていきます。正直、帯の荒木飛呂彦に惹かれて読み始めましたが、かなり読んでいて引き込まれる作品でした。			
	1-237	237P (237分)	第四章	2019/11/16 15:46:40
かまほしむ ☆☆☆☆	国王を処刑することが決定されてからサンソンが英雄扱いを受けるまでの部分が、多少スカッとする所がある。とはいえ、処刑を生業にしている人の苦悩は理解出来て辛くなった。			
	8-241	233P (180分)	166-176	2019/11/11 11:26:08
Duo ☆☆☆☆	死刑執行制度とは、執行人にとってどれ程辛いものがよくわかります。			
	219-239ページ	20P (20分)	220ページ	2019/09/27 09:56:20

[TOP](#)



(株)貧困大国アメリカ

著者名	堤 未果	発行年	2013年
出版社名	岩波新書	ページ数	278ページ
値段	760円	ISBN	978-4004314301
コメント	夢の国アメリカのダークサイドのお話。 食べる物とか、身の安全とか、子どもの教育とか、ほんとに基本的なところの土台が、じわじわじわじわ大資本の利益優先によって腐食されていく。 ほんとかな？ 偏りすぎの内容を疑いつつも、きちんとデータとルポの裏付けがあるので、いったん聞いておく価値はあるでしょう。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム		コメント	
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント
			投稿時間

アツ ☆☆☆☆	導入の部分ですでに衝撃を受けました。民営化が進みすぎるとこうなりかねないということを理解できました。			
	すべて	278P (120分)	1-18	2019/12/01 22:54:09
Nd ☆☆☆	アメリカがどうして貧困なのか、トランプ氏に比べ称賛されがちなオバマ氏がアメリカに残した負の遺産について触れられている。			
	1-18	18P (10分)	1-18	2019/11/17 16:21:09
Duo ☆☆☆☆	題名の意味が本を手を取ったときには全く理解できませんでしたが、該当箇所を読むことで理解できました。			
	255-269ページ	15P (15分)	269ページ	2019/11/08 23:04:00
chemeng ☆☆☆☆	アメリカの負の側面にスポットを当てた本。内容は少し大げさな気もするが、世界のトップを走るアメリカですらこんなに問題を抱えているのだから、この世にユートピアなんて存在しないんだなあと感じた。			
	1-166	166P (100分)	121-166	2019/11/03 11:20:19
焼肉 ☆☆☆☆	自分が食べているものがどこから来ているのか？を日々考えて生活している人は少ないと思います。本当に自分は安全なものを食べているのかが心配になるような内容がたくさん書かれています。この本を読むことで自分の食に対する意識が変わると思います。			
	1-106	106P (80分)	49-55	2019/10/24

				11:02:59
なんこう ☆☆☆☆	筆者は大分工場式での農畜産業が嫌いという前提ありきにしても衝撃的な内容ばかりだった。オーガニック食品の内容についても結局大手企業のビジネスチャンスになっているのはやばいなあと感じた。寡占状態はやはり不健全と感じさせられる本だった。			
	通学電車	150P (180分)	89-100	2019/10/10 08:50:49
ジャスミン ☆☆☆☆	アメリカの貧困層の実態を知ることができた。負の側面をどう変化させていくかが今後のアメリカにとって重要なことだと感じた。			
	1-18ページ	18P (10分)		2019/10/04 08:50:12
ハンニバル ☆☆☆☆	この本が言っていることが全て本当かは知らないし、バイアスは当然あるだろう。しかしある一点に置いて、富裕層の1%も貧困層の99%も関係ない、と思う。目先のお金に目が絡み、選択を間違える…将来どう生きたいか…考えさせられる一冊だった。			
	1~278	278P (250分)	どこでも	2019/10/01 21:50:57
ネム ☆☆☆☆	貧困の人々を救うための方法として、食料を給付するというその場しのぎではなく、賃金をアップするべきだという考えに共感した。農業の話に興味がなかったので、途中の章はかなり苦痛だった。			
	全部	278P (60分)	なし	2019/09/27 09:52:28

[TOP](#) ^



地方消滅

著者名	増田 寛也	発行年	2014年
出版社名	中公新書	ページ数	243ページ
値段	820円	ISBN	978-4121022820
コメント	新書大賞2015受賞作。 こういうふうには人口が減って、ここから町が消えてゆきますよ。データのかたまりを突きつけて、いかに日本が危機かが力説されます。 やばいやばいと大声で言われると、ほんと？（白目）と返したくなるのが人のつねだけれど、自分のふるさととはだいじょうぶかな、と巻末リストをこっそりめくってみたり。 全ページ言っていることは一緒なので、ばらばら眺めて気になったグラフを手がかりにその周辺を読むという濫読読みが向いています。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勤め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
-------	------	-------	-------------	------	----------	------

Go ☆☆☆	小泉進次郎氏が出てきた。 この本はデータと対話を織り交ぜながら地方の将来を説いた本。対話篇の一部に、復興政務官時代の小泉進次郎氏が論客として登場するのだが、結婚の話になって彼が独身の自虐する風景はなんと も微笑ましい。 難しい話だがしっかりと噛み砕いてくれている。			
	157-199	43P (40分)	166-171	2019/10/31 17:10:02

chemeng ☆☆☆	地方消滅というタイトルの通りの内容です。ファクトフルネスを読んだ後なのでこの手の本は〇〇本能に影響されているのかなとか思いながら読んでました。			
	11-93	83P (50分)	69-93	2019/10/21 22:32:48

kk ☆☆	数字の話が多かった。そして個人が1としてではなく全体の構成員の一つで扱われてるようにしか感じなかった。			
	1-50	50P (30分)		2019/10/18 08:59:50

たまきち ☆☆☆☆	日本がこれからどのように変化していくのか、考えたこともなかったのでこの本を読んで驚いた。東京ですら人口減少が進む時代が来るなんて恐ろしい。今の政治家はこの事態を理解してより一層少子化対策をするべきだと思う。			
	1〜50	50P (120分)	1〜40	2019/10/04 10:40:45

--	--	--	--	--

もつ鍋 ☆☆☆☆	地方出身の自分は、そのタイトルに惹かれてしまい読んでみました。少子高齢化に伴う人口減少はもちろん、東京への流出に伴う人口減少にも地方は対応していかなければなりません。新たな知識や、誤解について気づくことが出来ました。巻末の市区町村ごとの将来推計人口のところで自分の出身地を探してみると面白いです。			
	1-10、47-68、95-140、208-243	114P (90分)	1-10、208-243	2019/10/04 08:45:52
ジャスミン ☆☆☆☆	日本の人口減少メカニズムを知ることができる本。東京をブラックホールに見立てる例えが印象的でした。少子高齢化問題に歯止めをかけるにはどのような政策が必要なのか、今後の日本に発展はあるのか考えさせられる一冊でした。			
	1-204ページ	204P (120分)	11-31ページ	2019/09/29 23:48:07

[TOP](#) ^



里山資本主義

著者名	藻谷 浩介/NHK広島取材班	発行年	2013年
出版社名	角川loneテーマ21	ページ数	308ページ
値段	781円	ISBN	978-4041105122
コメント	新書大賞2014受賞作。 サブシステム、というところがポイントでしょう。マネー資本主義はダメ、里山資本主義がいい、という主張では全く無くて、お金が滞っちゃった場合も考えて、ちゃんとサブシステムを用意しておく、こんな余禄もありますよ、という論調で、いろんな実践例が披露されます。田舎であることを、どうしようずに活かすか。さとやま・・・懐かしい未来へ。ネーミングのうまさも前向き気分を持ち上げてくれます。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
---------------	-------	-------------	------------------	------

藤吉友香 ☆☆☆☆☆	可愛げのある表紙とは裏腹に、新しい事業で地域を興していく里山資本主義の話。 この本を読んでいて、田舎を復興させるということも非常にやりがいがありとても楽しそうだなと感じた。 特に都会で大手の企業に就職することと比べると支出がほぼゼロであるために、お金の部分で稼ぎに大差がつかないという話は新しい事実でものすごくためになった。 ブックリストの中の本の中には無い、実践的な話であるので読んでいてとても面白かった。			
	3-116	116P (80分)	53 86	2019/11/17 21:47:53

kk ☆☆☆☆☆	何を持ってしていい生活とするのかを考えさせられた。派手さはないけど幸せな生活は実現し得るんだなと感じたし試してみたいと思う。			
	1-88	88P (60分)		2019/10/30 12:40:26

chemeng ☆☆☆☆☆	いわゆるゴリゴリの資本主義ではなく、こんなシステムもあるのでは、というのを事例と一緒に紹介している。マネー資本主義を見つめ直すきっかけになるかもしれない。			
	27-154	128P (80分)	64-116	2019/10/20 23:03:42

Duo ☆☆☆☆☆	里山資本主義という言葉の意味が理解でき、とても面白いと思いました。			
	117-297ページ	181P (54分)	152-154ページ	2019/10/10 21:52:30

神楽 ☆☆☆	まだ読んでいる途中で期限が経ってしまったので、どこかでまた借りたい			
	1-40	40P (30分)		2019/10/08

				09:03:27
--	--	--	--	----------

焼肉 ☆☆☆☆	お金をより多く稼ぐだけが幸せではない事が、この本を読んで気づかされました。将来の選択に迷いがある人(自分も)はこの本を手にとって読んでみると思います。			
	3-193	191P (100分)	27-38	2019/10/04 09:03:49

Nd ☆☆☆☆☆	田舎から学ぶ経済成長のしかたや節約することで成長する方法についての本 今の日本の資本主義の考え方について異議をとнаえている			
	1-154/251-303	206P (50分)	1-63	2019/09/27 10:02:52

[TOP](#) ^



任天堂“驚き”を生む方程式

著者名	井上 理	発行年	2009年
出版社名	日本経済新聞出版社	ページ数	288ページ
値段	1,700円	ISBN	978-4532314637
コメント	人生のたくさんの時間をお世話になってきた、いやたぶん今もお世話になりつつあるゲームの世界のお話。 京都の花札屋がいかにして世界制覇を成し遂げたか？　なんてまとめると、ありがちサクセスストーリーっぽく聞こえるけれど、どうしてどうして、この会社はタダモノではない。「最先端じゃなくてイイ、枯れた技術でじゅうぶん」「僕は役に立たないモノを作ってる」、経験に裏打ちされたスゴイ言葉がぼんぼん飛び出します。数時間のインタビューをお手軽にまとめたのとは底力の違う、取材の手あつさがあってこそ。気合いの入ったルポルタージュです。 そして何より、社長の岩田さんが我らが東工大の大先輩……		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
-------	------	-------	-------------	------	----------	------

神楽 ☆☆☆☆	有名な会社ってほとんどの人が生まれつき天才かと思っていた。しかしこの人の場合は試行錯誤の末に成功を手に入れている。私も努力しようと思った。				
	17～83ページ	66P (30分)	第三章		2019/12/01 23:37:57
S ☆☆☆☆	最初はマネージメントスキルや経営方針の吸収を目的として読んだが、個人的にはその点では特に何も得られなかった。おそらく個人差の生じる部分ではあると思うので、是非読んで欲しい。ただ、商品や企画を開発していくプロセスはとても勉強になった。2009年出版の本であることを常に念頭に置きながら読むとさらに面白いかもしれない。企画会社に就職したい人や起業したい人にはオススメの一冊。				
	7-297	289P (120分)	岩田さんや宮本さんなど、人の話をすると ころは特に面白い		2019/10/04 09:00:39
エロエロ仙人 ☆☆☆☆☆	最初は全て読むつもりはなかった。しかし読んでみると想像以上に面白く、気づいたら最後まで読み終わっていた。任天堂の歴史、考え方など今の任天堂がなぜここまで大きくなったかがわかりやすく書いてあった。最新の技術ではなく枯れた技術を使ったり、売り上げを給料にせずに開発費用に多くあてるからこそいいものができてるなど自分の全く知らなかった任天堂を知ることができた。岩田社長の東工大らしさも感じられる面白い本だった。ゲームが好きな人は是非読んで欲しいと思う。				
	1-304	304P (180分)	131-136		2019/09/30 21:41:17
Lion ☆☆☆☆☆	任天堂がどのような文脈でDSやWiiなどを売り出していったかわかる本。任天堂の歴史を知るにはおすすめ。				

1-100

100P (60分)

54-73

2019/09/29
17:20:00

[TOP](#)^



仁義なき宅配

著者名	横田 増生	発行年	2015年
出版社名	小学館	ページ数	318ページ
値段	1,512円	ISBN	978-4093798747
コメント	ホットな話題に体当たり取材。著者の情熱がそのままカタチになったイキのいいドキュメンタリーです。 シェア拡大を最優先したがために、送料無料のワナにはまり、取扱量は増えても赤字がふくらむばかりという泥沼の宅配業界。そこから佐川がいかに抜け出そうとしているか。 クリックひとつで翌日無料配達という便利さを私たちが享受している裏側がいったいどんなすさまじいことになっているのか、知ると物流の見方が変わります。		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム		コメント	
お勧め度	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント
			投稿時間

Nd ☆☆☆☆	Amazonの宅配業界における影響力と、ネット通販の送料無料によって宅配業界、消費者がどのような考えになっているかが書いてあり面白い			
	1-70	70P (20分)	1-70	2019/11/17 16:16:14
いづなたん ☆☆☆	しっかりは読んでいないが、斜め読み。佐川について書いてあったが、利用者視点からだと佐川はクロネコヤマトと比べて時間指定守らないし、荷物の扱いも雑だと感じている。そうせざるを得ない雰囲気なのかと感じた。			
	1-318	318P (100分)		2019/11/15 15:11:58
かまほしむ ☆☆☆	Amazonをはじめとしたサービスが登場したことでさらに忙しくなった運送業界の生々しい競争が描かれていた。 これからはちゃんと宅配便の再配達は1回で受け取ろうと思った			
	7-310	303P (220分)	306-310	2019/10/22 16:46:46

[TOP](#)



あのメニューが生まれた店

著者名	菊地 武顕	発行年	2013年
出版社名	平凡社	ページ数	128ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4582634860
コメント	ハヤシライスにオムライス、お子様ランチに担々麺。おなじみのメニューが、いちばん最初に生まれたときは、どんなつもりで、どんな苦心があったのかしら。実際にお店を訪ねてお話を伺ってまいりました。 どれもおいしそう！ おなかのすいた時にどうぞ・・・		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム お勧め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント 立ち読みポイント	投稿時間
上 ☆☆☆☆	日本の食文化の美しさに改めて気づかされた。 旅行先で見つけたらぜひ食べてみたいと思った。			
	全部	128P (45分)		2019/11/25 18:01:27
読書好きSS ☆☆☆☆	とても美味しそうな写真に加え、その料理に関するちょっとしたエピソードが加えられていて自然と目を通したくなる一冊でした。			
	1-128	128P (45分)	90-91	2019/11/25 14:35:20
きつなきせ ☆☆☆☆	日本でお馴染みの料理がどのように出来たか説明されていて面白い。 写真を見るだけでお腹がすいてくる。 その料理が生まれたお店の場所まで紹介されているので今度行ってみたいと思う。			
	1-128	128P (30分)	39.64.78	2019/11/15 13:30:38
紅いもたと ☆☆☆☆☆	おなじみのメニューの発祥を紹介しているグルメ本。どれも美味しそうでページをめくるのが楽しいです。 祖母がハヤシライスを作った早矢仕さんのご家族と病院でお会いしたことがあるとからしく、家庭内でも盛り上がりました。 お腹がすいた時には読んでではない禁書でしょう。			
	1-128	128P (30分)	4-5	2019/11/03 18:01:40
gomatamago ☆☆☆☆	初めは絵本感覚で読もうとしていたが、いざ読むと、料理の創作者の血が滲むような努力や知恵を感じられて、さすがだなと思った。特に、大好きなカレーパンを考案した中田豊吉さんには感謝したい。			

	1-128	128P (128分)	58-59(カレーパン)	2019/10/18 11:38:38
nuknwon ☆☆☆	普段よく食べられているメニューの始まりの瞬間が描かれた一冊。特に自分は普段よく食べるつけ麺、そしてお子様ランチの始まりに驚かされたので読んでみてもいいのでは。			
	1-128	128P (45分)	62-63,92-93	2019/10/08 10:20:20
ピーナッツ ☆☆	コラムの“時代が生んだあの商品”のページが面白かったです。			
	1-73, 116-127	85P (60分)	124-127	2019/10/08 00:09:38
もつし ☆☆	日本人にとってなじみのある数多くのメニューの誕生には、歴史的な出来事などが深く関わっていて非常に興味深かったです。			
	1-81	81P (40分)	18-19	2019/09/29 17:26:17

[TOP](#)△



トトロの住む家

著者名	宮崎 駿	発行年	2011年
出版社名	岩波書店	ページ数	93ページ
値段	2,300円	ISBN	978-4000257978
コメント	家と、樹々と、人が寄り添いあって、ゆっくり年を重ねてきた、そのたたずまいに、宮崎監督のおともをして、ほんのつかのま、おじゃまさせていただきます。 この明るい板張りの縁側では、どんな少女たちが桜のつぼみを数えたのだろう。 この節くれ立ったエゴの木は、どんな腕白坊主がよじのぼったのだろう。 写真とイラストからご自由に、いにしえの息づかいを蘇らせてください。 あ、トトロめっけ！		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム
お勧め度

読んだ場所

読んだページ数（時間）

コメント
立ち読みポイント

投稿時間

中村憲剛 ☆☆☆	文章はあまり読まずに写真集としてパラパラ読んだ。 ジブリの世界観が感じられる写真がたくさんあった			
	全部	93P (30分)		2019/12/01 16:19:49
読書好きSS ☆☆☆☆	写真も多く写真集として読むこともできますが、文章もその風景の臨場感あふれる描写がなされているので本としても退屈せずに読むことができる一冊でした。写真を見ながら少し文章を読んでみるくらいでも違った見方ができるのでいいと思います。			
	1-93	93P (30分)	36-39	2019/12/01 15:59:20
呂布バルサン ☆☆☆☆	トトロが好きなので、この本を読もうと思った。 トトロ自体は出てこなく、非常に残念だったが、トトロへの理解は深まり、もっと家のトトロ人形を大事にしようと思った。			
	全て	93P (20分)	5-19ページ	2019/11/26 17:50:16
藤吉友香 ☆☆☆	水彩画と絵描きさん特有の癖の強い字が個人的にとっても好きでした。その家に関するエピソードがかなり細かく書かれており様々なことを考えながら写真を見ることができる。 テスト終わったら、トトロ見返してみようかな。			
	6-91	85P (40分)	26-35	2019/11/17 21:32:55

Azasu ☆☆☆	トトロは出てこない。 ナツキとメイが住んでいた家のモデルとなった家の舞台裏を覗くことができる。 ちなみに私はラピュタ派			
	すべて	93P (15分)	82,83	2019/11/15 10:20:30
なんこう ☆☆☆	日本の古き良き家屋が好きな人は多分興味深く読み進められるんだろうなって感じでした。面白かったです。			
	1-93	93P (30分)		2019/11/15 08:59:54
結城楓 ☆☆☆	トトロの実際の資料と合わせて、実在の無関係な住宅を説明しているのが新しいと思った。テーマの都合上家の格好が似通っているので、似た内容になりがちなテキストを読み込むのは確かに退屈かもしれない。しかし、トトロの世界観に触れながらも、住宅とそこに住む人々を尊重しているあたたかみのある文章が素敵だった。			
	1-93	93P (93分)	全部	2019/11/12 01:36:55
たこやき ☆☆☆	コメント欄に写真集としてみるのが良いということが散々書かれていたので、言う通りにパラパラしてみました。どの写真もトトロやまっくろくすけが見えてきそうな写真ばかりで、自然に、あのジブリの独特なファンタジーを思い出しました。宮崎駿の群を抜いて奇抜な発想の原点は「百聞は一見に如かず」ということにあるのがよくわかります。			
	1-93	93P (30分)	38	2019/11/06 11:19:13
ネム ☆☆☆	トトロが住んでいる家が実在するのにとても驚きました。宮崎駿監督のタッチに懐かしさを感じます。文章二段構成になっていて、読みづらさを感じていました。写真も多くパラパラ見るのはおすすめです。			
	全部	93P (30分)	なし	2019/11/05 09:13:23
クロワッサン ☆☆☆	宮崎駿さんの絵と実際の民家の写真が所々に載っていて懐かしく、そして落ち着いた気持ちになりました。しかし、私は最後まで読みましたが同じような内容が続くので途中で飽きてしまうかもしれません。			
	1-93	93P (30分)	36ページからの庭のある家	2019/10/25 13:00:51
ケケケ ☆☆☆☆☆	ジブリに出てきそうな家としてではなくではなく純粋に日本家屋の写真集として楽しむことができます。特に廊下の写真はすごく雰囲気があってなんか感動できます。写真集として見ることをおすすめします。			
	全部	93P (30分)	55ページ	2019/10/25 00:12:50
gomatamago ☆☆☆☆	トトロの世界観は、現実から作られていることに驚きだった。改めてトトロを観てみようと思った。			
	全部	93P (30分)	28~29ページ	2019/10/18 11:53:12
もつし ☆☆☆	ジブリ作品にみられる素朴でありながら何かワクワクする街並みがどのようにして思い描かれたのかを感じることができます。スケッチを見るだけでも楽しめます。			
	全部	93P (40分)	66-77	2019/10/12 18:49:30

まなつ ☆☆	じっくり読むというよりはパラパラ絵を見る感じ。ジブリガチ勢ではないので少し退屈だった。			
	1-93	93P (5分)		2019/10/08 15:19:48
nuknwon ☆☆☆☆	子供の頃から見ているトトロの家が実際にどのようにデザインされているのか、本当に細かいところまで説明されている一冊。何気ない風景も計算されつくされたものだということに驚愕します。			
	1-93	93P (40分)	66-77	2019/10/08 09:03:23
hori ☆☆☆☆	疲れたときに読みたい本です。古民家を見てほっこり、宮崎駿の絵を見てほっこり。読んでいて癒されます。			
	1-93	93P (20分)	8-9,18-19ページ	2019/10/04 11:07:40
紅いもたと ☆☆☆☆	トトロの住んでいそうな民家を訪ねた記録が写真と共にまとめられている。宮崎駿監督の描いた絵も入っておりジブリファンにとって感情が揺さぶられるものがきつとある。トトロのテーマを聞きながら読みたい一冊である。 32ページに写り込んでいるチャート式数?Bは東工大生にとってクスッと笑えるポイントなのではないだろうか。			
	1-93	93P (20分)	32ページ	2019/09/27 10:23:31

[TOP](#) ^



天才の思考 高畑勲と宮崎駿

著者名	鈴木 敏夫	発行年	2019年
出版社名	文春新書	ページ数	426ページ
値段	1,296円	ISBN	978-4166612161
コメント	ナウシカにトトロ、なつかしいジブリ作品の舞台裏、として読んでも楽しいけれど、ひとつのプロジェクトを達成するのに、どんなぶつかりあいや転機があったか、お仕事プロセスとして読むと、もっと汎用性が高まりそう。宮崎駿のようなキレモノにして困り者の大天才をもしチームにかかえたら、あなたはこうやってマネジメントしますか？		

読者投稿欄

コメント登録

ペンネーム	お勤め度	読んだ場所	読んだページ数（時間）	コメント	立ち読みポイント	投稿時間
-------	------	-------	-------------	------	----------	------

Nd ☆☆☆	二人の映画監督の苦悩が書かれてて少しはまってしまった			
	1-175	175P (60分)		2019/11/13 20:09:34
kk ☆☆☆☆☆	ジブリについて全く詳しくなかったが全作品の苦勞と裏話を知り全作品見てみたいなという気分になった。天才の思考というほど思考についての話は多くなく天才の苦悩という感じの内容だった気がした。			
	1-426	426P (240分)		2019/10/18 09:03:12

[TOP](#)